

# 日川協通信 (127)

令和3年9月1日



一般社団法人全日本川柳協会  
〒530・041 大阪市北区天神橋 丁目

北一一一九〇五

電話 (06) 635212210

FAX (06) 6352124330

振替口座 009701913575

<http://www.nissenkyou.or.jp>

## ご挨拶

理事長 小島 蘭 幸

7月、8月の集中豪雨により、全国各地に甚大な被害が発生しました。土石流、土砂崩れにより多くの人の命が奪われました。衷心より哀悼の意を捧げます。またこのたびの豪雨により被害に遭われました皆様には、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

7月11日、延期をされていた第35回国民文化祭みやざき2020川柳の祭典が感染症対策をして開催されました。一般社団法人全日本川柳協会を代表して、江畑哲男副理事長が挨拶をされました。

入賞の皆様おめでとうございます。また、万全の準備をさ

れました西岡南風氏をはじめ、地元スタッフの皆様から  
お礼を申し上げます。ありがとうございました。

今年の11月14日には、第36回国民文化祭わかやま2021が開催されます。来年度は、富山で全日本川柳大会、沖縄で国民文化祭を開催する予定です。

現在、コロナウィルス感染拡大により、東京、大阪をはじめ全国各地で緊急事態宣言が出ています。ワクチン接種、特效薬により、一日も早く収束して、皆様にお会い出来ることを願っています。

一般社団法人全日本川柳協会は、今、加盟社拡大に力を入れていきます。良い情報がありましたら事務局までご連絡ください。よろしくお願ひ致します。

まだまだ残暑が厳しいです。感染症対策をしっかりして、熱中症にも気を付けましょう。

# 第二十三回 全日本川柳誌上大会

(令和柳多留) 入 選 作 品 (参加者 1,346 名)

令和柳多留賞

人間を刻むこんなに灰汁が出る

岩手 野口 一滴

川柳大賞

にんげんが好きで密から抜け出せぬ

徳島 福本 清美

N H K 会長賞

核の傘ひろげたおめでたい平和

広島 笹重 耕三

日本青少年育成協会会長賞

あの夏へ刻む不戦というテーゼ

山形 江本 光章

全日本川柳協会賞

めでたいで括る高齢者のいのち

石川 表 よう子

全日本川柳誌上大会賞

ご褒美に入ってあげる同じ墓

愛知 堀内 重紀

ラッキーな馬だ翼が生えてきた

青森 瀧尻 善英

敗戦の褒美は平和だったなあ

鹿児島 前田 一天

年輪の詰まる大きな木に育て

徳島 木藤 恵子

毎日の素振りに運が味方する

長崎 野口 公明

第一次選者

「刻む」

大竹 洋

「めでたい」

小林 信一郎

「褒美」

福井 勲

「ラッキー」

長島 敏子

「」

藤丸 咲子

第二次選者 (50音順)

徳丸 浩二

密川 柳

鈴木 公弘

石川 柳

平井 義雄

令和3年度(6月30日)

東西合同常任幹事会  
通 常 総 会

場所 II プレミアホテルキャビン大阪

定足数の確認のあと議事録署名者選出

議 案

議案第1号 令和2年度事業報告承認の件  
議案第2号 令和2年度  
収支決算報告承認の件

報告第1号 令和2年度監査報告の件  
議案第3号 任期満了に伴う理事・監事専任  
および新常任幹事選出の件

報告第2号 表彰の件  
その他

第1号議案から第3号議案、その他まで慎重審議の結果、議長の報告通り可決成立。最後に議長から謝辞を述べ午後3時20分に閉会した。

〈ハイスユニシ柳壇の指導を10年以上行った者〉

堀井 勉

〈第14回川柳文学賞〉

正賞「十年の軌跡 東日本大震災を詠む」  
織田 順子  
森山 文切

準賞「せつえい」

森山 文切

第35回 国民文化祭みやざき

太陽と緑あふれる神話の源流 みやざき 川柳の祭典 (令和3年7月11日)  
事前投句A 1, 468名、事前投句B 1, 229名

◎入賞句

文部科学大臣賞

少しずつ忘れて朝食がうまい

宮崎

中武 弓

国民文化祭実行委員会会長賞

もう誰も憶えていない花吹雪

大阪

赤松ますみ

宮崎県知事賞

お砂場に太陽がある森がある

栃木

荻原 鹿声

第35回国民文化祭宮崎県実行委員会

趣味の掌にいのちの欠片遊ばせる

岩手

小田 治朗

第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会会長賞

還暦の少年が飼うカブトムシ

岐阜

喜多村正儀

宮崎県教育委員会教育長賞

高千穂の靈気がくれた立ち直り

宮崎

藤井 英坊

第35回国民文化祭

第20回全国障害者芸術・文化祭宮崎市実行委員会会長賞

人間の煮凝りでした神でした

青森

岩崎 雪洲

宮崎市教育委員会教育長賞

牛舎からびかびか光るイヤリング

鳥取

川上 澄子

一般社団法人全日本川柳協会理事賞

伝説を裏返したら愛がある

愛知

佐藤 陶猿

宮崎県現代川柳協会会長賞

伝統の神楽を親子継いで舞う

大分

佐々木憲道

一般社団法人 全日本川柳協会 役員

(順不同・敬称略)

常任幹事

A 1 地区

高橋みつちよ・辻 晚穂・浪越 靖政

A 2 地区

北山まみどり・瀧尻 善英・濱山 哲也・福士 慕情  
三浦 蒼鬼・大石 一粹・藤 咲子・渡辺 松風  
熊谷 岳朗・西 恵美子・仁多見千絵・山口まもる

A 3 地区

駒木 香苑

江崎 紫峰・太田紀伊子・矢野 義雄・酒井 青二  
高鶴 礼子・てじま晩秋・西潟賢一郎・花道 歌子  
荻原 鹿声・田中寿々夢・原名 幸雄・及川竜太郎  
大竹 洋・川崎 信彰・柴垣 一・名雪 凜々  
堀江 加代・米島 暁子

A 4 地区

安藤 波瑠・いしがみ鉄・上村 脩・大野 征子  
川上 勉・齊藤由紀子・佐藤 孔亮・佐道 正  
渋谷 溪舟・平 川柳・竹田 光柳・田中八洲志  
平井 熙・福井 勲・藤井 敬三

理事長 小島 和幸(蘭 幸)

(副)理事長 江畑 哲男(哲 男)・天根 利徳(夢 草)

常務理事 岡崎 守(守)・赤井 二郎(花 城)

零石 隆子(隆 子)・田中 新一(新 一)

理事 平田 朝子(朝 子)・松代 章弘(天 鬼)

佐藤 美文(美 文)・島田 信一(駱 舟)

鈴木 公弘(公 弘)・長谷川三紀夫(醉 月)

安藤 紀佑(紀 楽)・今田 久帆(久 帆)

坂下 清(清)・福本 清美(清 美)

三上 博史(博 史)

監事 矢澤 和女(和 女)・高瀬 一博(霜 石)

相談役 大野 風柳・本田 智彦

顧問 河村 建夫・池井 優・川村 恒明

塩見 草映・近藤 勝重・河内 天笑

平山 繁夫・辻原 登・渡辺 利夫

齋藤 健

A 5 地区

荻原美和子・金子美知子・堀井 勉・水野 耆郎  
八木せいじ・渡辺 貞勇・岩田 明美・佐藤 清泉  
小林信二郎

A 6 地区

菅沼 匠・石田 一郎

B 1 地区

赤池 加久・岩原 茂明・酒井 路也・久崎 田甫

B 2 地区

荒川八洲雄・重徳 光州・鈴木 順子・大島 凧子  
大嶋都嗣子

B 3 地区

小梶 忠雄・植野美津江・大楠 紀子・大西 將文  
阪本 高士・川上 大輪・三宅 保州

B 4 地区

赤松ますみ・岩佐ダン吉・碓氷 祥昭・片岡 加代  
くんじろう・高田美代子・伊達 郁夫・田中 螢柳  
土田 欣之・西出 楓楽・村上 玄也・森中恵美子  
山野 寿之

B 5 地区

安部 美葉・上野多恵子・岡田 篤・長島 敏子  
西 美和子・樋口 祐子・村上 氷筆

B 6 地区

石井 華蓮・稲村 遊子・新家 完司・牧野 芳光

B 7 地区

高木 勇三・浅原志ん洋・嶋田 昭紀・瀬戸れい子  
弘兼 秀子・大場 孔晶・宮本 仙舟

B 8 地区

多田 誠子・土橋 旗一・和田 健史・栗田 忠士  
仙波 草苑・高畑 俊正・小笠原 望・竹崎たかひろ

B 9 地区

梅崎 流青・萩原奈津子・古谷龍太郎・真島久美子  
横尾 信雄・井上 万歩・永石 珠子・平井 義雄  
黒川 孤遊・徳丸 浩二・松村 華菜・泉 談亭  
藤原 道明・麻井 文博・大田かつら

(元理事) 2021年1月以後(敬称略)

謹んでお悔み申し上げます。

逝去日 役職 お名前 享年

3 / 17 理事 植木 利衛 83



# 正味財産増減計算書

平成2年4月1日から平成3年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,183	2,095	△ 912	
受取入金	21,000	15,000	6,000	
柳社入金	15,000	12,000	3,000	
個人入金	6,000	3,000	3,000	
受取会費	5,031,000	5,331,000	△ 300,000	
理事会費	408,000	432,000	△ 24,000	
常任幹事会費	2,880,000	2,856,000	24,000	
正会員会費(団体)	1,645,000	1,966,000	△ 321,000	
正会員会費(個人)	98,000	77,000	21,000	
普及向上事業収益	10,565,790	12,767,742	△ 2,201,952	
誌上大会	2,693,000	2,693,163	△ 163	
電子出版	148,500	150,000	△ 1,500	
全国大会(事前)	1,630,000	1,706,000	△ 76,000	
全国大会(当日)	3,758,000	5,887,013	△ 2,129,013	
表彰後援事業	50,510	108,600	△ 58,090	
選考協力事業	2,285,780	2,222,966	62,814	
受取補助金等	1,125,280	3,606,233	△ 2,480,953	
受取寄付金	200,000	0	200,000	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	16,944,253	21,722,070	△ 4,777,817	
(2) 経常費用				
事業費	14,550,618	20,365,864	△ 5,815,246	
給料手当	2,799,726	2,701,287	98,439	
臨時雇賃金	527,280	706,880	△ 179,600	
退職給付費用	142,500	142,500	0	
旅費交通費	656,840	1,841,540	△ 1,184,700	
通信運搬費	2,031,006	1,933,325	97,681	
支払手数料	6,532	4,304	2,228	
消耗品費	88,121	167,204	△ 79,083	
印刷製本費	2,376,379	2,837,862	△ 461,483	
光熱水料費	109,524	92,117	17,407	
賃借料	1,207,100	1,196,270	10,830	
保険料	0	27,300	△ 27,300	
諸謝金	1,896,306	2,269,250	△ 372,944	
表彰後援費	520,304	539,012	△ 18,708	
広告宣伝費	0	20,000	△ 20,000	
実行委員会運営費	2,189,000	5,887,013	△ 3,698,013	
雑費	0	0	0	
管理費	1,171,432	1,808,612	△ 637,180	
給料手当	147,354	142,173	5,181	
退職給与費用	7,500	7,500	0	
福利厚生費	4,944	88,566	△ 83,622	
会議費	24,850	204,407	△ 179,557	
旅費交通費	28,120	216,440	△ 188,320	
通信運搬費	106,895	101,754	5,141	
支払手数料	5,500	495	5,005	
消耗品費	4,638	8,800	△ 4,162	
印刷製本費	0	151,010	△ 151,010	
光熱水料費	5,764	4,848	916	
賃借料	63,532	62,962	570	
保険料	8,250	9,800	△ 1,550	
法定福利費	467,432	462,001	5,431	
租税公課	70,000	78,000	△ 8,000	
接待交際費	5,150	9,940	△ 4,790	
雑費	221,503	259,916	△ 38,413	
経常費用計	15,722,050	22,174,476	△ 6,452,426	
当期経常増減額	1,222,203	△ 452,406	1,674,609	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
退職給付取崩益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
(該当なし)	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期正味財産増減額	1,222,203	△ 452,406	1,674,609	
一般正味財産期首残高	4,110,218	4,562,624	△ 452,406	
一般正味財産期末残高	5,332,421	4,110,218	1,222,203	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	21,000,000	21,000,000	0	
指定正味財産期末残高	21,000,000	21,000,000	0	
III 正味財産期末残高	26,332,421	25,110,218	1,222,203	

# 監 査 報 告 書

一般社団法人全日本川柳協会  
理 事 長 小 島 和 幸 殿

令和3年6月7日

一般社団法人 全日本川柳協会

監 事

高瀬 一博 

監 事

矢澤 和女 

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

# 第14回川柳文学賞受賞作品

正賞 『十年の軌跡 東日本大震災を詠む』 織田順子

準賞 『せつえい』 森山文切

第14回川柳文学賞は令和二年に発行された句集のうち、申請のあった22冊を選考委員(筆石隆子・佐藤美文・新家吉司・梅崎流青・荒川佳洋)の5名が選考しました。

第一回から選考委員を務められた、故林えり子氏の後任として、新たに作家の荒川佳洋氏を選考委員にお迎えしての選考となりました。

今年も前回と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応し、これまで五月に開催されていた理事會後の選考委員会を持たず、リモート選考となりました。日川協事務局からの選考結果の報告を受け、集計通りの受賞と致しました。

五月二十五日、あらためて各委員へ電話確認を行い受賞決定の運びとなりました。

## ■総評 選考委員長 筆石隆子

今年の川柳文学賞の申請は22冊。コロナ禍ながら前回より多い応募数である。第12回まで選考委員が一堂に会して選考会を開催していたものが今年も出来ず、前年と同じく各委員の選考結果を集計したもので決定。今回のように点数が接近したりする時は、じっくりと選考を話し合う場の必要を思う。東日本大震災から十年の節目の年ではあるが、しばらく震災川柳が多く、リアルな体験が各大会の高点句になっている。また昨今も、新型コロナをモチーフにする句が多く、千年や百年ぶりの災害で、「想い」も強いのは分かるがマンネリ感はある、特別賞を考えたいと思う。

正賞一位推薦2名、二位推薦1名の「十年の軌跡 東日本大震災を詠む」織田順子著は、福島在住で東日本大震災の被災者。未曾有の体験が書かせる作品に説得力があり、全日本川柳大会などの上位入賞の「常連で実力作家として定評のある作家である。」

準賞は「せつえい」森山文切著、二位推薦2名、三位推薦1名である。特長はWebとWeb外の二章からなる。川柳人口の多くはアナログ世代なので、作品も作者も知らなかったが、これからの川柳の方向性を考えたいと思う。次点の「野良書 石田一郎著は、二位推薦2名、ベテラン作家の「健闘を称えたい。」

■正賞 『十年の軌跡 東日本大震災を詠む』 織田 順子 (福島)

評 (一位推薦) 佐藤 美文

今年も東日本大震災から丁度10年目に当たる。テレビでも新聞でも取り上げていた。それだけに余計印象に残ったのかも知れないが、でも誰かが書かなければならなかった事でもあると思う。内容も期待に応えてくれるものであった。一句挙げるとすれば「復興へ小さな声を東にする」を挙げたい。

評 (一位推薦) 新家 吉司

最初の章「震災」から終章の「明日へ」まで、ブレることなく総て東日本大震災に関わる事象を詠っている。「心までえぐりさらった大津波」「子どもの日海に名を呼ぶ母が居る」等々。悲惨な状況から目を逸らさず克明に述べようと、する真摯な姿勢に感銘した。また、「原発に触れずにおれぬ立ち話」ふるりに根っこ残して「街暮らし」等、自らの心情も率直に述べていて説得力がある。

■準賞 「せつえい」 森山 文切 (沖縄)

評 (一位推薦) 梅崎 流青

「内側の方が汚れているガラス」風や雨に打たれる外側よりも内側が汚れているガラスとは。この句は発見の妙を述べた作品ではない。内側にひしめく人間たちが雨風よりも、との意味だ。浄土に対する穢土。人間たちの汚れたこの世である。「じいさんのナタ昭和をぶった斬る」あの大敵の防波堤となったオキナワは今も昭和のまま。ひっきりなしに離着陸を繰り返す軍用機の轟音。そしてキヤピラアアアアアアア。作者は沖縄に生活の拠点がある。じいさんのヤマトランチューを見る目は厳しい。「刑務所が歩いていける距離にある」に身震いした。刑務所の門は思ったより低く広い。ふっと手を伸ばせば包丁がいつでもそこにある。作者はWeb句会を中心に活動しているという。紙の上の活字しか知らぬ昭和人に変わって川柳の輪を広げて欲しい。

評 (一位推薦) 荒川 佳洋

川柳が詩である以上、イメージの跳躍に、他人の理解を困難にするものがある。当然だが、森山さんの句がわりあい平易なのは対象を咀嚼しているからだ。ろ。ほんべんかたま。かすじか退職か「雇止めされても着火剤のまま」など感銘した。Web川柳という試みも川柳の可能性をひらく果敢な実験である。気になったのは「でした」「です」「でしょうか」「い作家の句集にも多くみ五を結ぶ用法。効果的に使われる場合はよかったが、他の作家の句集にも多くみられ川柳ではひとつの鑄型のように、俳句ではあまり用いられない。多岐な用法で、逆に読み手の理解を閉ざすような気がする。凭れ掛かのような甘えた感じも良くない。この用法は、句の自立性を損ないはしないか。

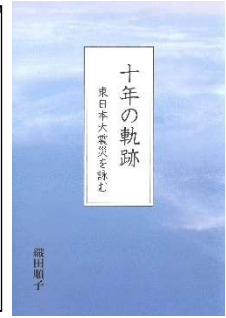


織田 順子 氏



■ 主な掲載作品『十年の軌跡 東日本大震災を詠む』

大地震生者と死者の紙一重  
土に触れ土の声聞く太い指  
被災地を無精に包む春の雪  
新しい故郷に馴染む被災の子  
こどもの日海に名を呼ぶ母が居る  
会心の米風評に泣いている  
賠償で生きる誇りは賄えぬ  
被災者に元気を貰うボランティア  
風下で原発の影逃げ惑う  
被災地を去るも去らぬも要る覚悟  
五歩引きの被災者証でレジを抜け  
被災した友の住所がまた変わり



令和2年12月23日発行  
四六判ソフトカバー・124頁  
日之出印刷株式会社 定価1000円

■ 主な掲載作品『せつえい』

沖縄にあるしりとり「ん」の続き  
混浴に少年がいた十二月  
花がない方が自然である花瓶  
一斉に開く告別式の傘  
内側の方が汚れているガラス  
じいさんの遺影は笑うのが苦手  
ブルタブを引いたら見えるのが心  
犯罪の臭いはしない屠殺場  
じいさんのナタで昭和をぶった斬る  
ツナ缶の中は幾何学模様  
殻破る度に小さくなっていく  
米軍のフェンス内にも咲くデイゴ

森山 文切 氏



平成2年3月29日発行  
A5判ペーパーバック・168頁  
毎週Web句会

# 全日本川柳誌上大会のご案内

## (令和柳多留第3集通巻24号)

日本の全柳人が、だれでも、どこからでも参加できる「全日本川柳誌上大会」(令和柳多留第3集通巻24号)を開催します。日川協年次大会・国民文化祭文芸大会と並ぶ(一社)全日本川柳協会の権威ある三大大年間行事ですので、こぞってご参加ください。

一般社団法人 全日本川柳協会  
理事長 小島 蘭 幸  
出版委員長 西出 楓 楽

### 課題と共選者 (各題2句・連記)

「黄」北山まみどり(青森) — 大嶋都嗣子(三重)共選  
「データ」三上博史(栃木) — 片岡加代(大阪)共選  
「巻く」柴垣一(千葉) — 樋口祐子(兵庫)共選  
「くっさり」佐道正(東京) — 高木勇三(岡山)共選  
「期待」佐藤清泉(静岡) — 横尾信雄(佐賀)共選

### 第2次選者

佐藤美文(埼玉)、西恵美子(宮城)、松代天鬼(愛知)  
矢沢和女(兵庫)、黒川孤遊(熊本)

参加費 2,000円(投句料・『令和柳多留第3集通巻24号』代金含む)

賞 令和柳多留賞・川柳大賞・NHK会長賞  
日本青少年育成協会会長賞・全日本川柳協会賞  
全日本川柳誌上大会賞(予定)

締切 令和4年1月31日(月)〈当日消印有効〉

参加方法 参加用紙に記入し、参加費2,000円(振替又は小為替)とともに、下記へご送付ください。

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-11-905  
一般社団法人 全日本川柳協会  
電話 (06) 6352-2210  
FAX (06) 6352-2433  
振替口座 00970-9-3575

頁	柳社名	箇所	追加・訂正・変更内容	
18	川柳ひたち野社	代表	三浦 武也 〒317-0066 茨城県日立市高鈴町 4-12-65	TEL 0294-22-4691
22	東京川柳会	代表	平 川柳 〒167-0031 東京都杉並区本天沼 2-42-1	TEL&FAX 03-3396-6030
23	川柳路吟社	代表	八木せいじ 〒242-0024 神奈川県大和市福田 5672-1-109	TEL&FAX 046-240-6278
24	新潟時事川柳くらぶ	会名変更	読売越路時事川柳くらぶ → 新潟時事川柳くらぶ	
25	川柳えんびつ社	代表	森谷 正成 〒932-0102 富山県小矢部市水島 950	TEL 0766-61-2749
	石川県川柳協会	代表	赤池 加久 〒929-1312 石川県羽咋郡宝達志水町上田カ 206	TEL&FAX 0767-28-2642
26	寺井川柳会	代表	伊野 征之 〒923-1121 石川県能美市寺井町カ 88-6	TEL&FAX 0761-57-2091
	番傘加越能川柳社	事務所	小川誠一郎 〒920-0965 石川県金沢市笠舞 2-9-18	TEL 076-262-7327
	番傘はんば川柳社	事務所	巽 俊一 〒916-0028 福井県鯖江市小黒町 1-3-54-3	TEL 0778-52-6317
27	川柳きぬうらクラブ	代表	猫田千恵子 〒475-0862 愛知県半田市吉住町 6-112	TEL&FAX 0569-21-4399
29	川柳塔なら	代表	大久保眞澄 〒631-0078 奈良県奈良市富雄元町 1-1-7-114	TEL 0742-44-8425
30	おりひめ☆ひこぼし川柳会	新入会	藤田 武人 〒573-0095 大阪府枚方市翠香園町 2-7	TEL&FAX 072-395-5453
		事務所	梶尾 奏子 同上	
31	川柳藤井寺	代表	鈴木いさお 〒583-0007 大阪府藤井寺市林 5-8-20-303	TEL&FAX 072-952-6855
34	井笠川柳会	代表	三好 孝一 〒714-0071 岡山県笠岡市東大戸 1646	TEL 0865-62-4318
	弓削川柳社	代表	高橋土筆坊 〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀 5114-34	TEL 090-7378-9163
35	福山市老人大学川柳科	新入会	田辺与志魚 〒721-0962 広島県福山市東手城町 1-20-3	TEL 084-945-0725
	広島川柳会	代表	吉川美佐子 〒731-0142 広島県広島市安佐南区高取南 2-5-9	TEL 082-872-2744
	下関一杯水川柳会	代表	吉野 研三 〒752-0944 山口県下関市長府中六波町 10-3	TEL 083-245-9329
	山口川柳吟社	代表	西田 義舟 〒753-0214 山口県山口市大内御堀 2-7-18	TEL 083-924-2315
36	川柳鳴峡会	事務所	黒谷 凉子 〒772-0017 徳島県鳴門市撫養町立岩七枚 195	TEL 0898-53-6123
	今治汐風川柳社	代表	川上ますみ 〒799-2205 愛媛県今治市大西町宮脇甲 73-106	TEL 0898-53-6123
	川柳のむら	代表	土居 久子 〒797-1212 愛媛県西予市野村町野村 1-521	TEL 0894-72-1473
38	福岡県川柳協会	事務所	河内やすこ 〒811-3221 福岡県福津市若木台 3-12-3	TEL 0940-42-6452
	熊本県川柳研究協議会	事務所	平川 徹則 〒860-0004 熊本県熊本市中央区新町 1-5-20-905	TEL 096-356-8389
39	大分番傘川柳会	代表	藤原 道明 〒870-0267 大分県大分市城原 2332-2	TEL 097-593-4426
40	沖縄県川柳協会	代表	池村 幸夫 〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町 4-30-3	TEL 098-887-6923

第15回  
川柳文学賞募集

日川協では川柳の普及向上を目的として、毎年1年間に出版された川柳個人句集のうち、もっとも優れた川柳句集に対して「川柳文学賞」を授与しています。

2021年1月から12月末日までに刊行した句集6冊及び同句集の概要説明書を2022年1月末日までに当協会に「川柳文学賞」選考委員会宛にお送りください。沢山の応募お待ちしております。

▼ 富山 今後の全国大会予定  
2022年6月12日(日)  
富山国際会議場

▼ 和歌山 今後の国民文化祭予定  
2021年11月14日(日)  
有田市民会館

▼ 沖繩 2022年秋

▼ 石川 2023年秋

▼ 岐阜 2024年秋

### <実施概要>

募集期間：2021年9月15日（水）～11月1日（月）

賞品：大賞10万円（1作品） ・ 入選3万円（3作品） ・ 佳作1万円（6作品）

結果発表：2022年1月5日（水・遺言の日）

選考委員：森永 卓郎 氏（自身の相続体験から、遺言や相続、終活への備えを著書や講演活動で訴える）

佐山 和弘 氏（日本財団遺贈寄付SCの遺言セミナー等でご講演いただいた相続遺言専門行政書士）

桂 ひな太郎 氏（遺言や相続、終活をテーマにした落語の第一人者）

実施体制：主催）日本財団

後援）法務省 その他、金融機関への後援を依頼中



森永 卓郎 氏



佐山 和弘 氏



桂 ひな太郎 氏

## 水害に遭われた皆様に謹んでお見舞い申し上げます

### 編集後記

★去る6月の全日本川柳協会総会で、事務局長代行に就任した江畑哲男です。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

★あれから数カ月、あつという間である。ともかく忙しい。大阪の事務局とは通信機器を駆使しながら連絡を取りあい、実務をこなしてきた。幸いにして順調。多様な通信手段と機器の進歩に助けられている。有り難いことだ。

★しかしながら、日川協の抱える課題は山積している。ご存知のとおり。とりわけ、組織と財政の強化は最大の課題。コロナ下ではあるが、加盟吟社の拡大と常任幹事の増員が急務であろう。まずは、声かけ・働きかけをしてほしい。理事をはじめ、関係各位の特段のご協力をお願いする次第である。その意味で、必要な資材は今回も封入させていただいた。

★大阪から離れていても実務は出来る。いま流行りと「テレワーク」とお考えいただいたらよろしい。そのテレワークの担い手さんを、ただいま募集中だ。

★皆さんの日川協である。皆さんで支えてほしい。そういう気風をこれから皆さんと一緒に作って参りたい。

がんばろう！

（事務局長代行 江畑哲男）